

KAMAKURA TENMAKU™

鎌倉天幕

TARP 530 DL DAC / 530 DL 取扱説明書

お買い上げ頂きましたお客さまへ

本書は、ご使用になる前に必ずお読みいただき大切に保管してください。

SIZE : D 530cm × W 570cm × H 260cm
WEIGHT : ABOUT 7.0kg (FABRIC)
FABRIC : POLY 300 D 2000mm PU TEFLON

POLE SIZE: DAC POLE 3000 (φ 28mm / H 200~300cm)
WEIGHT : ABOUT 1.0kg (1POLE)



URLからも詳細な説明がご覧になれます。



MODEL : KTM530D / KTM530



安全にお使いいただくために、本書に記載の事項を必ずお守りください。



警告／使用上の注意



【火気厳禁】

1. タープ内での火気使用は絶対に行わないでください。
2. タープ近くの熱源に対しても安全を確かめてご使用ください。

【設営上の警告】

1. タープは、風等の影響により、思いもよらぬ動きをします。傷害事故にならないようご注意ください。また、物や車も破損する恐れがありますので、ご注意ください。
2. ロックやスライドする部分で、手指等を挟む可能性がありますので、ご注意ください。
3. ロープ、ペグダウンは必ず行い、緩みのないように固定してください。
4. 設営する際は、手袋などを使用して安全に作業を行ってください。
5. 嵐や集中豪雨、積雪など、天候が悪化した場合は、ご使用を中止し、安全な場所に避難してください。
6. 常設用ではありません。タープから長時間離れる場合は撤収してください。
7. ハンマーでペグ打ちする時は、ケガ等をしないようご注意ください。

【使用上の注意】

1. 幕体の生地は防水加工してありますが、長時間の大雨や集中豪雨時には水漏れる場合があります。また、経年劣化により防水性が低下した場合は、市販の撥水スプレーで塗布してください。
2. 幕体の生地は寿命は取り扱い方法や環境によって変わります。紫外線の強い時期に設営したままにすると、変色したり、傷んだりします。また、濡れたままの状態では保管したり、カラーズプレー等をかけることも、異臭、変色、傷みの原因となります。
3. タープの内側と外気との温度差により、幕体内に結露する場合があります。これは水漏れではありませんので、タープ内の換気を行ってください。
4. 経年劣化により縫い目から、水が漏る場合は、市販のシームシーラーで補修を行ってください。幕体の生地の破れは、市販のテント用リペアシートを利用してください。
5. 本製品以外のもので使用して改造しないでください。
6. 常設でのご使用はおやめください。
7. 過剰なロープ張りや生地の強度がもたない無理な取扱いは破損の原因になります。

【収納時の注意】

1. 収納時には、幕体を乾燥させてから収納してください。
濡れたまま保管しますと、異臭、カビ、色移り、生地の劣化の原因になります。
2. 幕体が濡れている場合は風通しの良い日陰で乾かしてください。
3. 幕体を乱雑にたたみますと、折じわ等ができ、防水能力の低下につながります。
4. タープを収納する時は、各部の確認を行い、不備があるときなどは補修等を行ってください。

【製造元・お問い合わせ】

株式会社ニューテックジャパン

TEL 045-312-7895

NEWTEC JAPAN

www.newtecjapan.com

本製品を持って出かけられる前に



1. 付属品の数量不足が無いかチェックしてください。
2. ご使用前に必ず試し張りを行い、縫製不良が無いかチェックしてください。
3. ペグとハンマーは別途お買い求めください。

【本体・付属品】

| | | | | | |
|---------|-------|----|----------|-------|----|
| 本体 | | 1個 | ロープ 1m | | 2本 |
| 生地パネル | | 4枚 | ロープ 2.5m | | 4本 |
| メッシュパネル | | 4枚 | ロープ 5m | | 2本 |
| 収納ケース | | 1個 | DACポール | | 2本 |

※TARP530DLIにはDACポールは付属しません。

安全な設営のために

【設営場所の選び方】

1. タープは安全な場所に設置してください。
 2. 平坦で水はけが良く、風の弱い場所を選んでください。
 3. 火気や熱源から離れた場所を選んでください。
- *自然では予測できない事態が occurs。過信なさらず本製品に破損、または危険の恐れがある天候時は必ず中止してください。

【タープを張る前に】

1. タープを広げるときは風向きを調べ、タープが飛ばされないことを確認してから設営を行ってください。
2. 設置場所の石や障害物を取り除いてください。
3. 突風に気をつけ、周りに人や物、車両等がないかご配慮ください。

【保護者の皆さまへ】

小さなお子さまとのご使用につきましては、安全に十分なご配慮をお願いいたします。またお子さまだけのご使用はお避けください。

アフターサービス

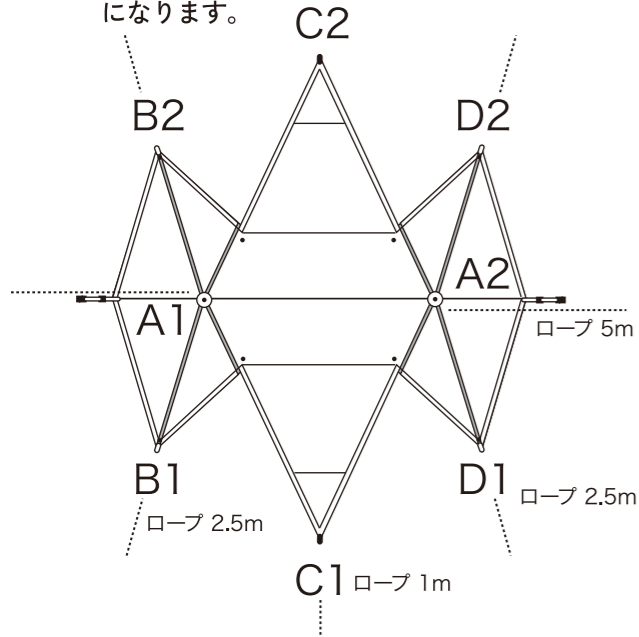
万が一、不良品等が生じた場合は、お手数ですがお買い求めの販売店にご連絡ください。無償修理または交換させていただきます。ただし、経年劣化による破損や誤った使用による故障等に関しましては有償になりますので、ご了承ください。

LOT NO.,

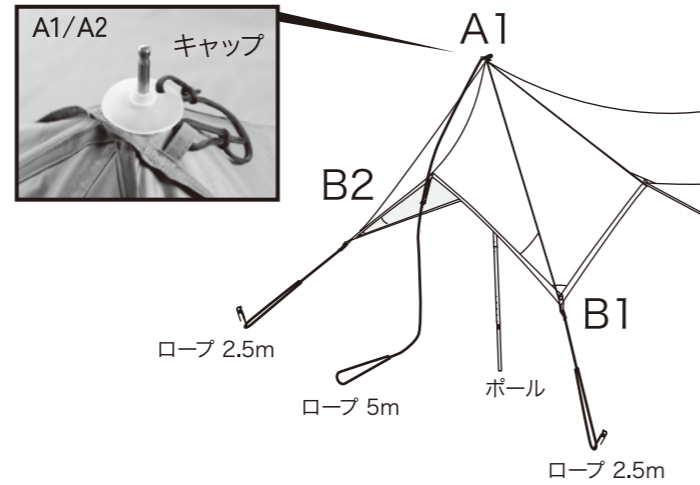
MADE IN CHINA

設営方法

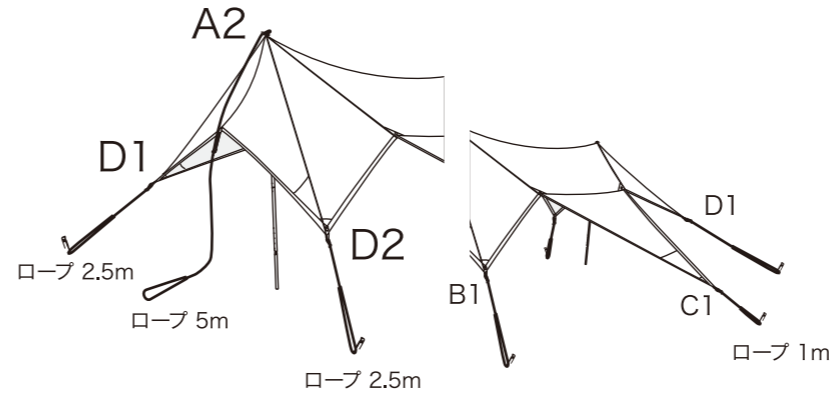
1 STEP タープをひろげます。
各部の位置を覚えて設営していきます。
ペグの打つ位置は縫製線の延長線が目安になります。



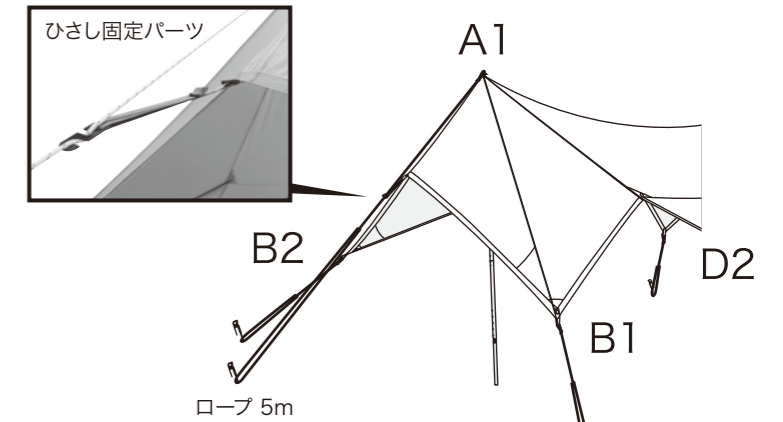
2 STEP B1とB2にロープ 2.5mを使ってペグで仮固定します。
A1にポールを差し込みキャップとロープ 5mをセットしたら、ポールを使って立ち上げます。



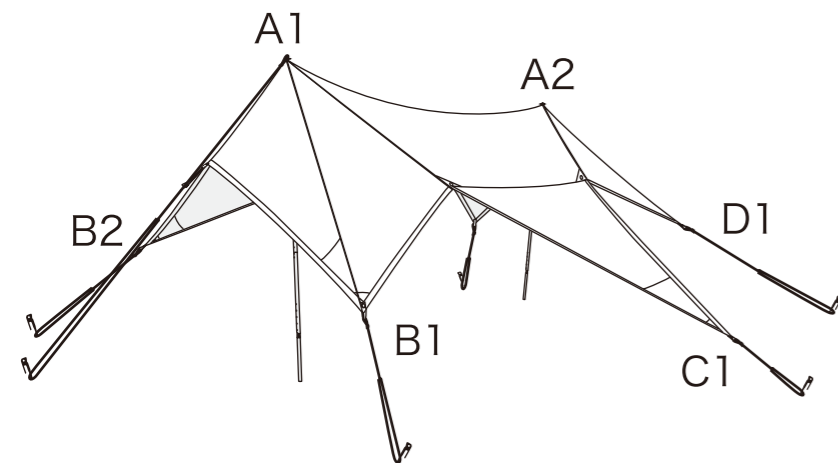
3 STEP 反対側も同じようにD1とD2にロープ 2.5mを使って
A2にポールを差し込み、立ち上げて仮固定します。
C1とC2にロープ 1mを使って縦方向に仮固定します。



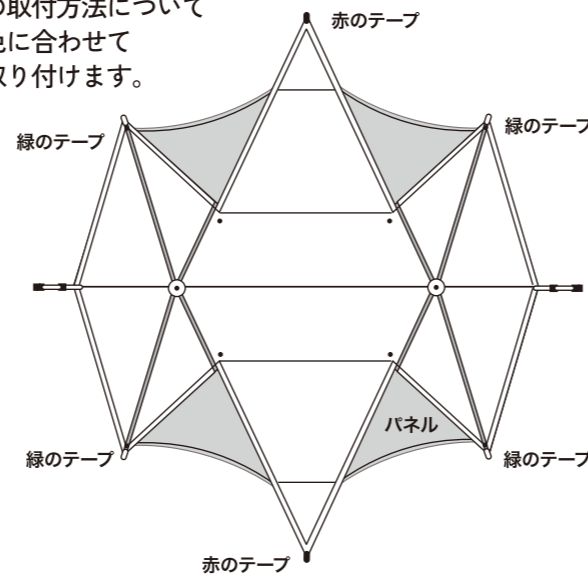
4 STEP ロープ 5mを使って横方向に仮固定します。
この時にひさし固定パーツを使って
ロープ 5mに引っ掛けて調整し、反対側も同じようにします。



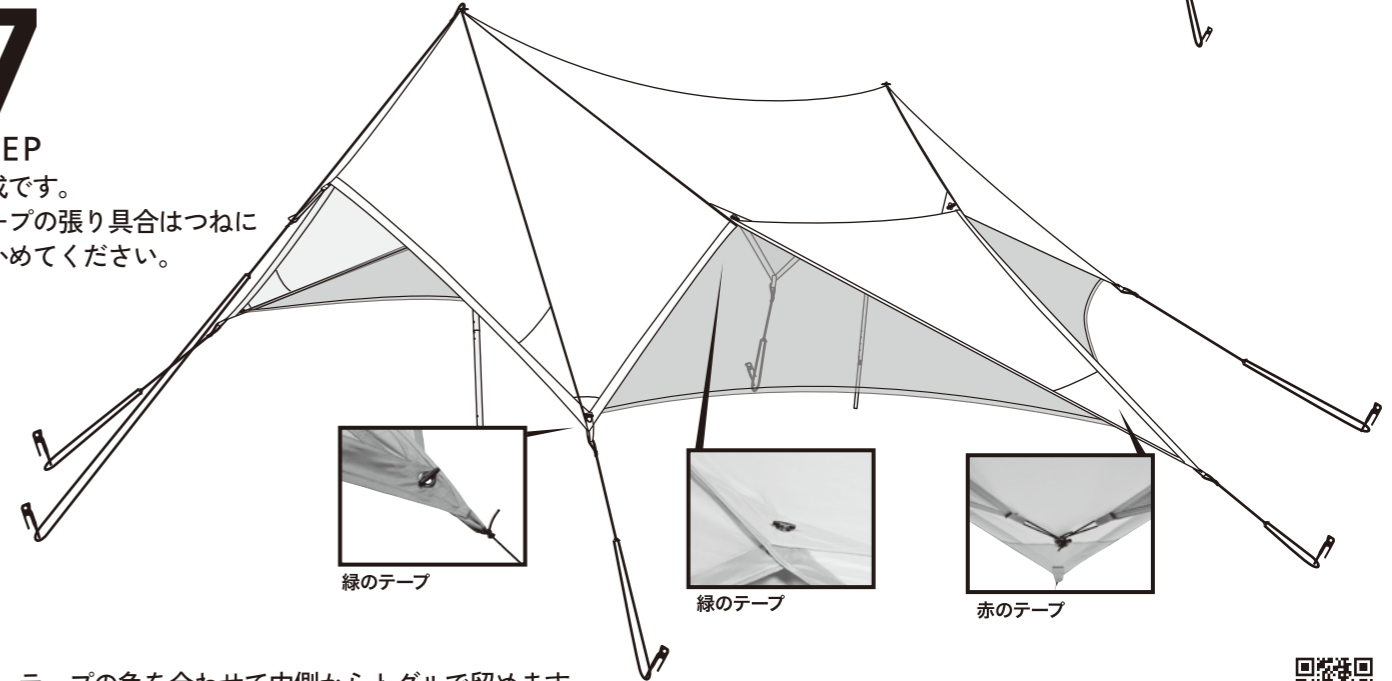
5 STEP 写真を参考に仮固定したペグの位置を変更しながら
自在を使って、張り具合を調整して設営します。



6 STEP 各パネルの取付方法について
テープの色に合わせて
パネルを取り付けます。



7 STEP 完成です。
ロープの張り具合はつねに
確かめてください。



テープの色を合わせて内側からトグルで留めます。
生地パネルは裏表に注意して、本体側の生地と同じにして取り付けてください。

URLからも詳細な説明がご覧になれます。

